

第6回竜王町総合計画審議会 会議録

日時：令和3年1月14日（木）19：00～21：00

場所：竜王町防災センター 2階大会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

第六次竜王町総合計画基本構想（案）について

4 グループワーク

重点プロジェクトについて

5 その他

6 閉 会

【出席委員】

市岡、井手、勝見、北村、谷、谷口、谷村、西村悠哉、西村三代司、松瀬、森島、竹井、吉田

【欠席委員】

石橋、瀧川

※敬称略、順不同

1 開会

事務局：定刻となりましたので第6回竜王町総合計画審議会を始めます。寒い中、ご出席ありがとうございます。また、昨年からスケジュール調整いただきありがとうございます。引き続きお願いします。本日は前回までの議論からまとめた基本構想案について確認いただくとともに、今後5年間で特に何をしていくのか意見をいただきます。この審議会は記録のために録音・写真撮影させていただきますのでご了承下さい。

2 挨拶

事務局：開会にあたり、杼木副町長よりご挨拶いたします。

副町長：こんばんは。新しい年を迎えましたがよろしく申し上げます。新型コロナウイルス

について、京都、大阪では緊急事態宣言が出されました。これまで町内で3人感染者が出ましたが現在は回復されています。ワクチン接種については2月中旬以降、医療関係者、高齢者、子どもなど段階的な実施が予定されていますが、町では円滑な接種ができるよう、準備を進めています。また、自然に感謝する山の神の大祭や田中の粥占いなど、伝統的な神事・行事に参加してきました。新しい生活様式が求められる中ですが、伝統的なものは引き継いでいく必要があります、竜王町も持続していけるよう、しっかり議論をいただければと思います。よろしくお願いします。

事務局：ありがとうございます。続きまして、西村会長からもご挨拶いただきます。

会長：今年もよろしくお願いします。昨年は年末にかけて月2回開催し、意見をいただきましたが、基本構想の案についてはおおよそ固めていきたいと思います。コロナもある中、年末から雪も多くなっていますが、竜王町では比較的少なく、そうしたところも過ごしやすいまちだと思います。そんなところもアピールしてもよいかなと思います。本日は基本構想の案について意見ををお願いします。

事務局：瀧川委員、石橋委員は欠席です。それでは早速ですが議事に移ります。議事進行は会長をお願いします。

3 議事

第六次竜王町総合計画基本構想（案）について

【事務局より、資料に基づき将来像まで説明した】

会長：ご意見・ご質問がありましたらご遠慮なく出してください。
まず、めざすべき将来の姿について意見ををお願いします。

勝見委員：審議会の意見から出た「若者」というキャッチーな言葉を入れることに踏み切っていただいた案だと思います。

会長：今までにはない将来像にはなっていると思います。

森島委員：全体的には良いと思いますが、整いすぎているように感じます。「美しく」と「かなう」というのが気になります。「若者」については、年齢が若い人だけでなく、心も身体も若い人という意味合いも含まれると思いますが、わくわく感があるような、もう一歩踏み込んで良いと思います。

市岡委員：「美しく」と、「希望がかなう」が繋がらないのではと思いますが、一つずつの意味は良いと思います。

事務局：「まち」は「美しく」と「希望がかなう」のそれぞれにかかっており、「美しいま

ち」・「希望がかなうまち」としています。

吉田委員：希望がかなう、美しいまちとしてはどうでしょうか。

勝見委員：美しくのあとに「、」をうってはどうでしょうか。もしくは「若者が暮らしたいまち」「美しいまち」「希望がかなうまち」としてはどうでしょうか。

谷口委員：「美しく」と「希望がかなう」のつながりが気になりました。別々にした方が理解しやすいと思います。「若者も暮らしたい」という表現が若い人が見たときにどう感じるでしょうか。

井手委員：「若者も」をどう捉えるかによりますね。今はそうではないという風にも捉えられます。これからはあえて強調した表現が必要かもしれません。

事務局：庁内で議論した際、「が」から「も」に変更しました。「若者が」では、「高齢者はどうするのか」という意見もありました。そのため、若い人も、高齢の人もという想いを込めて、「若者も」という表現にしています。

谷村委員：下にサブタイトルを入れてはどうでしょうか。チャレンジするとか、行動が見えないように感じます。喚起するような表現があってもよいと思います。これまでの議論でも自治会に関する意見もありました。新しいものにチャレンジするような表現があっても良いと思います。

事務局：サブタイトルでわくわく感を出せると良いかもしれません。

副町長：希望をかなえていくということが入れればよいかもしれません。

吉田委員：「かなう」より「かなえる」という表現の方が前向きで良いと思います。ただ、全体的に薄っぺらく、深みがないように感じます。説明を聞けばわかりますが、文字を見た時に想いが感じられないといけないと思います。

谷村委員：これは行政の計画ですか、町民の計画でもあるのですか。

事務局：行政の計画ですが、町民とめざすものを共有しながら進めていくものです。

谷委員：「希望が」ではなく、「希望を」の方が良いと思います。

松瀬委員：「若者」というキーワードのインパクトが強いので、後の順番や表現は前後してても良いのではないのでしょうか。

勝見委員：「美しい」「希望がかなう」も表現としてはありふれているものです。コンパクトシティとか、とがった取組を進めていくので「新たに生まれ変わるまち竜王」のようなものでも良いかもしれません。

谷 委 員：10 年間使うものになるため、町民は素通りしたとしても、我々の想いは入っていないといけないと思います。

西村悠委員：「若者」に着目しているのは良いと思いますが、後半部分は「希望がかなう 美しいまち」とした方が良いと思います。

森島委員：言葉は人それぞれ感じ方が違うと思うので、時間をかけて考えてほしいと思います。それよりもどうやっていくのが重要です。10 年間でこれをやることで「美しいまち」をつくっていくとか、若い人が新たに参加するまちづくりを目的とするなど、検討していった方が良いと思います。

事 務 局：たくさん意見をいただいたので、次回以降、事務局で練って最終案を提示していきます。

会 長：この後のグループワークでも意見をいただきたい。

事 務 局：資料に基づき、人口、土地利用、施策体系等について説明した。

谷口委員：土地利用について、「地域特性を活かす」について、農商工だけでなく、住が大事だと思います。コンパクトシティ構想の中心核や、町有地の利活用についても視野に入れた方が良いと思います。

事 務 局：ご意見を参考に反映を検討します。

会 長：後のグループワークでも検討していただきますので、とりあえず議事は締めたいと思います。

4 グループワーク

事 務 局：ここからは隣のテーブルに移って、重点プロジェクトについてご意見をいただきます。

《重点プロジェクトに関するグループワークの実施》

事 務 局：活発なご議論をいただきありがとうございます。各グループでお話しいただいた内容の紹介をお願いします。

谷口委員：「豊かさ」では短期的なものとして、広域観光や農地付き空き家などの空き家対策、県立施設の誘致、若者誘致のための助成金などが挙げられました。長期的なものとしてインフラ整備やデジタル化などについては突出したものをめざすことや、カーボンゼロの取組、それぞれの柱ごとに SDGs との関連性を持たせるべきとの意見が挙げられました。

「やさしさ」では特色ある教育の推進や、エンターテインメントとのコラボによる英語教育、子育て支援や小学校建設、民生委員 100%を活かしたコミュニティづくりなどが挙げられました。アウトレットでの子育て支援事業の実施や家庭教育の在り方検討などが挙げられました。

「つながり」では地域コミュニティの改革が必要であることや、ゴミが目立つため美しいまちであるためには対策が必要であることなどが挙げられました。

井手委員：誰のためのプロジェクトかという視点で検討しました。若者のためのプロジェクトとしては、住環境の整備による若者が住めるところを確保していくことや、若い人が移住しやすいまちとして発信していくための発信力の向上などが挙げられました。子育て世代のためのプロジェクトとして、教育や生涯学習を売りにしてアピールしていくことや男女の出会いの場づくり、日野川の改修による安全の確保などが挙げられました。コミュニティを元気にするためのプロジェクトとして、若い人がでてきやすいような、働きながらも参加できるようなコミュニティのあり方を検討すべきという意見が挙げられました。

事務局：ありがとうございました。ご意見を踏まえながら重点プロジェクトを検討していきたいと思います。

5 その他

事務局：重点プロジェクトについて、本日いただいた意見を取りまとめて、検討していきます。閉会にあたりまして、勝見副会長からご挨拶をいただきます。

6 閉会

副会長：ありがとうございました。「若者」というキャッチーなキーワードで議論することができました。我々の声を取り入れていただき感謝します。これを元にして終わりが見えてきました。あと何回会議は予定しているのでしょうか。

事務局：1月は本日を入れて2回、2月も2回予定しています。

副会長：残り少なくなってきましたが、しっかり議論して後悔が無いようにしたいと思います。

事務局：閉会にあたりまして総務主監がお礼を申し上げます。

総務主監：遅くまでありがとうございます。皆さんの意見を重点プロジェクトに取り入れていきたいと思います。タイトなスケジュールの中でもしっかりと段階を踏み、取りまとめていきたいと思います。ありがとうございました。